

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
都市戦略局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)-(B)
一般会計	3,252	3,571	▲ 319
土地区画整理事業 清算特別会計	0	0	0
駐車場特別会計	581	515	66
合計	3,833	4,085	▲ 253

※ 職員給与費を除く。

※ 土地区画整理事業清算特別会計の(A)と(B)は、いずれも300千円。

※ 表中の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計等が一致しないことがある。

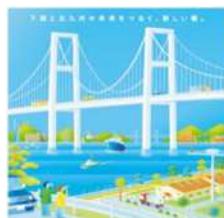
2 主要施策

(1) 施策の全体像

令和8年度予算方針

都市戦略局は、北九州市が目指す都市像を実現するために、持続可能で魅力ある都市づくりを推進し、市民の生活の質の向上を図ります。

まちづくりの課題の解決に向けて、長期的・全市的な視点で、政策を着実に実行していきます。



令和8年度予算の基本的な考え方

「稼げるまち」の実現

新 :新規事業

拡 :拡充事業

都市間の連携強化や産業集積促進のため、道路網の充実・強化に取り組みます。

拡 北九州高速道路建設事業

420百万円

下関北九州道路調査費

6百万円

「彩りあるまち」の実現

都市の魅力や価値を向上させ、国内外から人々や企業を呼び込むため、新たに策定する都市デザインに基づく民間開発の促進や、まちのにぎわいを支える公共交通の利便性向上、移住促進に向けた都市の魅力発信などに取り組みます。



コクラBEAT



クロサキスイッチ

「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業

73百万円

リビテーション推進事業

221百万円

新 小倉駅周辺快適トイレ大作戦

2百万円

公民連携による公園魅力向上事業

5百万円

新 グリーンインフラ社会実装モデル事業

6百万円

新 みんなで創る！
公共交通「北九州モデル」推進事業

10百万円

未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業

17百万円

拡 すまいる北九州 移住応援事業

147百万円

「安らぐまち」の実現

市民の安全・安心な暮らしを確保・充実するため、災害に強いまちづくりを推進するとともに、モノレールなどの都市基盤・施設の維持、公共交通空白地域における地域住民の生活交通の確保などに取り組みます。

新 ミライの安心につなげる
「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」

62百万円

空き家対策事業

167百万円

拡 マンション管理適正化推進事業

15百万円

新 筑豊電気鉄道車両更新補助事業

88百万円

地域の生活交通を確保する
「おでかけ交通支援事業」

216百万円

(2) 重点施策

①みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業 10百万円

シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様なお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル(第2弾)を推進する。

■事業内容

- あらゆる方々(若者、女性、シニアなど)の移動に関するお困りごとを丁寧に把握し、実効性のある対策を推進

情報収集（お困りごとの把握）

① 市民アンケート・ヒアリング調査

- ・市民の移動に関する困りごとやニーズを把握するため、アンケート調査やヒアリングを行い、地域や世代ごとの課題を整理

② デジタル技術を活用した需給状況調査

- ・郊外や夜間の繁華街等におけるタクシー不足の実態を把握するため、タクシー配車アプリ等のデジタル技術を活用し、需給状況を調査・分析

対策推進「新たな移動手段の確保」

① ナイトタイムエコノミーを支える移動手段の確保

- ・駅や商店街等の夜間における移動需要に対応するため、夜間の移動サービスを実証的に運行し、利用状況を把握するとともに課題を整理し、その需要に適した運行形態を検証

② あらゆる移動手段を活用した移動サービスの発掘

- ・福祉や教育等と連携し、民間が保有する輸送資源を調査し、新たな移動手段としての活用可能性を検討

- 公共交通の継続利用につながるような啓発活動などを展開

利用促進

① 若者やシニアなどあらゆる世代への利用促進策の展開

- ・公共交通の利用促進に向けた啓発とともに、若者の将来的な利用定着を推進するため、若年層の意見を反映した利用促進策を実施

②「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業 73百万円

小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る。

■事業内容

●エリア価値向上に向けたプロジェクトの推進

令和7年度にとりまとめる小倉・黒崎地区の将来像（「都市デザイン」）の実現に向け、官民連携により実効性の高いプロジェクトを抽出する。

抽出したプロジェクトについて、事業スキーム、実施主体、費用負担、スケジュール等を整理し、実現可能性の検討を進める。

●道路等の公共空間を活かしたまちづくり

公共空間を活用し、官民連携で多様なコンテンツを展開することで、観光・経済振興を図る。あわせて、新たな都市ブランドの確立につなげ、民間投資を促進する。

・小倉地区：勝山公園・紫川河畔を活用



賑わい空間の創出
(紫川河畔)

・黒崎地区：ふれあい通りを活用



歩道空間の長期的活用
(東京都豊島区 池袋グリーン通り)

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

拡充・北九州高速道路建設事業

420百万円

福岡北九州高速道路公社が実施する、北九州高速5号線(戸畠枝光線)の新設や、北九州高速1~4号線における耐震補強等に伴い、設立団体として出資金・特別転貸債に係る経費を負担

・下関北九州道路調査費

6百万円

下関北九州道路が接続する福岡県側陸上部において、本道路の整備に伴う周辺一般道路への交通影響について、調査・検討を実施

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

・「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業

73百万円

小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る

・リビテーション推進事業

221百万円

小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスビルの建設を行う事業者等に対して、整備費等の一部を補助

新規・小倉駅周辺快適トイレ大作戦

2百万円

都市アメニティとしてのトイレに着目し、トイレを「まちなかの小さな憩い空間」ととらえ、「女性のコンフォート」＝「みんなのコンフォート」という女性目線により小倉駅周辺エリアのトイレ環境を市民参画で改善することで、市内外からの来訪者へのおもてなしのまちづくりにつなげる

・公民連携による公園魅力向上事業

5百万円

民間活力の導入により公園の魅力向上を図るため、民間事業者との対話をを行うとともに、対象事業地についての計画策定や、事業実施に向けての測量や事業費の算出等を実施

新規・グリーンインフラ社会実装モデル事業

6百万円

持続可能で魅力的な「彩りあるまち」を目指し、自然環境を活かしたグリーンインフラを戦略的に導入するため、大学機関をはじめとする多様な主体と連携し、2027年開催の国際園芸博覧会において、新技術やAIを活用したグリーンインフラモデルを展示することで、北九州市における社会実装を推進

新規・みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業

10百万円

シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様なお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル(第2弾)を推進

・未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業 17百万円
公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施

拡充・すまいる北九州 移住応援事業 147百万円

北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、相談窓口、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を実施

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

新規・ミライの安心につなげる「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」 62百万円

市民の安全・安心な暮らしを促進するため、民間建築物について、耐震化や危険ブロック塀の除去、吹付アスベスト対策にかかる工事費等を支援するとともに、その普及啓発にかかる取組を実施

・空き家対策事業 167百万円

相談対応のDX化を行うとともに、空き家バンクの対象を拡充するなど、空き家・空き地対策の3つの柱である「発生予防啓発・管理促進」「活用促進」「管理不全の解消」を官民連携で取り組み、総合的な対策を推進

拡充・マンション管理適正化推進事業 15百万円

分譲マンションの管理の適正化を図るため、関係団体と連携し、管理組合の課題や管理状況に応じたアドバイザー派遣や管理規約等の作成補助等を実施

新規・筑豊電気鉄道車両更新補助事業 88百万円

国土交通省の補助事業を活用して筑豊電気鉄道株式会社が行う車両更新事業について、福岡県及び沿線自治体(北九州市、中間市、直方市)が協調して更新費用の一部を補助

●暮らしの「安心」を支える

・地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」 216百万円

公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施

【問合せ先(全体に関すること)】

都市戦略局 総務課

TEL 093-582-2523